

3. 震災発生時から

《提言・要望等》

日程	主な内容
[平成23年] 12月20日	国及び東京電力に福島県内全ての原子力発電所の廃炉を求める決議文提出
[平成24年] 2月23日	市に放射線量の低減化対策に関する提言書提出
6月15日	市に放射線被害に係る市民への支援に関する提言書提出
6月29日	国・県に放射線被害に係る市民への支援に関する提言書提出

6. 小中学校の休校等

震災の影響により、市立小中学校の校舎、体育館等が一部損壊したことから、児童生徒の安全確保のため、休校、終業式の中止及び卒業式を延期しました。

(1) 市立小中学校の休校

平成23年3月14日～平成23年3月23日

(2) 市立小中学校の終業式の中止

当初予定：平成23年3月23日

(3) 市立小学校の卒業式の延期

変更前：平成23年3月23日、変更後：平成23年3月31日

4. 応急対応

1. ライフラインの被害と復旧

(1) 上水道・簡易水道

ア 復旧活動

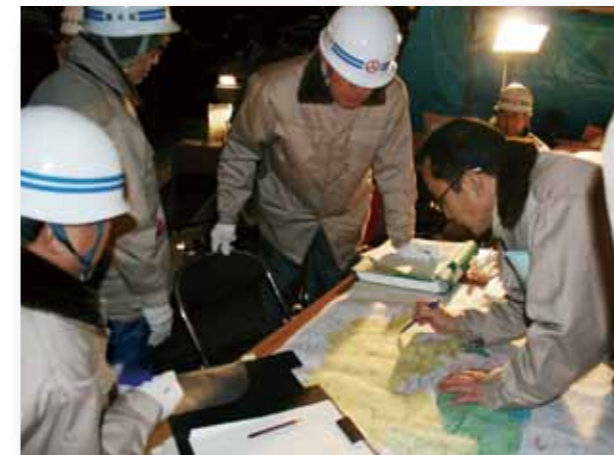
地震によって、豊田浄水場内の水道管が破損し水がつかれなかったこと、さらに市内各所で漏水が多発したことが主な原因となり、大規模な断水が発生しました。口径の大きい主要な水道管は被害が少なかったものの、各家庭に引き込む小口径の水道管が多数被害を受けたため、浄水場及び漏水箇所の復旧作業を行いました。

職員はもとより、協業組合郡山市水道管理公社、郡山市管工事協同組合が一丸となって応急復旧にあたり、震災4日目には90%、10日目に99%、そして4月1日に100%復旧しました。

【被害状況】

断水戸数：約37,000戸（総給水戸数：125,387戸）

被災箇所：1,060か所



水道局対策本部



豊田浄水場内配管修繕

簡易水道においても、4施設で断水及び漏水が発生したため、その復旧作業を行いました。

【被害状況】

断水戸数：約1,200戸（総給水戸数：1,583戸）

被災箇所：16か所

イ 給水活動

市内9か所において、24時間給水所を開設するとともに、市内15か所に設置している耐震性貯水槽のうち、断水エリア内の13か所を活用して給水活動を行いました。

また、自衛隊のほか、姉妹都市の鳥取市や久留米市、さらには日本水道協会を通じて、九州地方支部の長崎県や佐賀県の自治体など、最終的には28事業者、給水車33台の応援をいただきました。

